

## 「消費者志向」の事例を紹介します

### 【第1回】 そごう・西武の取組み「育児に関する身近な情報発信」

古谷由紀子（2015年4月25日）

◆同デパートでは社会貢献活動の一環として「赤ちゃんの安全安心セミナー～家庭でできる緊急対応～おうちの中は危険がいっぱい～」を2014年から各地域の消防署の協力を得て実施しています。デパートという場所を利用して、現在問題になっている赤ちゃんを取り巻く危険性を伝えていることが評価できます。

#### ◆取組み内容の概要

##### ・そごう千葉店（2015年1月16日）

「こどもの危険な行動」や「事故発生時の緊急対応方法」について講習

##### ・そごう広島店（2014年12月12日）

「赤ちゃんに起こりやすい事故の説明」や「人工呼吸・心臓マッサージなどの緊急対応」について講習

##### ・そごう横浜店（2014年11月21日）

「赤ちゃんに起こりやすい事故」や「心肺蘇生」の説明、「AEDの使用」など、実演を交えながら緊急対応の講演

##### ・西武池袋本店（2014年8月12日）

「落下・転落」「誤飲」などの赤ちゃんに起こりやすい事故の予防策や「誤飲時の処置」「AEDを使った心肺蘇生法」などの緊急対応について講演

◆詳しくは、下記をご覧ください。

・2015年実施分⇒[http://www.sogo-seibu.co.jp/csr\\_society\\_04.html](http://www.sogo-seibu.co.jp/csr_society_04.html)

・2014年実施分⇒[http://www.sogo-seibu.co.jp/csr\\_society\\_04\\_2014.html](http://www.sogo-seibu.co.jp/csr_society_04_2014.html)

追加

消費者庁では

「子どもを事故から守る！プロジェクト」を実施

(<http://www.caa.go.jp/kodomo/index.php>)

「あなたのお子さんは安全？」では月齢別、事故別での情報が掲載されています。

ほかにも、

- ・「子どもの安全メールの登録」
- ・イベント
- ・取組み事例

一度覗いてみませんか？

**あなたのお子さんは安全？**

子どもの事故は、周囲の大人たちが、家の中などの子どもの身の回り環境でちょっとした注意を払い、対策を立てることで予防できるケースが多々あります。

消費者庁では、0～3歳頃の子どもの事故の予防、子どもの月齢・年齢層に起こりやすい事故とその予防策について、イラスト入りで紹介しています。今般、おもむきごの対応法を追加で、改訂しました。

子どもの事故を予防するために、ご利用ください。印刷用データを提出しています。子どもの事故を予防するために、ご利用ください。

監修: 田中 哲郎氏 (消費者庁「子どもを事故から守る！プロジェクト」アドバイザー、長野保健福祉事務所長)  
出口 貞美子氏 (長崎県大村市出口小児科医院院長)  
所 真里子氏 (株式会社 ベネッセコーポレーション 商品安全管理センター)  
原稿の事前については、本報編集部の記者が子どもを事故から守る！プロジェクトアドバイザーの謝辞を掲載しました。

月齢別  
0～3か月程度  
3～6か月程度  
6～9か月程度  
9～12か月程度  
1～2歳程度  
2～3歳程度  
全特級 [PDF]

事故別  
I 窒息・誤飲  
II 溺れ  
III 落下・転落  
IV 指はみ・打撲・切り傷  
V やけど  
VI ベビーカー・車・自転車  
VII その他屋外での事故  
全特級  
買出申込書